

【山崎主宰の俳句】

まほらま

山崎 聰

まほらまは藁の果ての稲穂波

網を干す一切は黄落の中

火男もいる十一月のカレンダー

みちのくは馥郁とあり鷹渡る

ときどき思う冬虹のうしろがわ

影すこし尖りて寒し厨猫

海すでに空につながり神楽笛

大空の藍色深み甲斐も冬

月山のふもと雪降り雪女

門を出てまっすぐ行くと十二月